

本年度の前期学校評価の集計結果をお知らせします。今回も多くの保護者の皆様にご回答をいただきました。ありがとうございました。

集計したデータのうち、教職員自己評価・保護者評価・生徒評価の肯定的回答、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」の割合が、7割に満たないものを要改善評価項目としました。この結果をもとに、分掌部会・学年部会で検討を重ね、職員会議で全体確認をした後のまとめを学校だよりとしてお示しします。今後とも、信頼される学校づくりを目指し努力を重ねてまいります。保護者の皆様の益々のご理解とご協力をお願いいたします。

## 本年度の重点教育目標 「自分の将来を描き、主体的に発信できる生徒の育成」

- ①「自分の将来を設計する力を育てる」  
～教育課程の効率的な編成・実施等～
- ②「自ら学び、主体的に発信するための知識・技能を育てる」  
～主体的な学習習慣と、基礎・基本等の確実な定着～
- ③「自信が持てる心を育てる」～自己肯定感、自己有用感の高揚～
- ④「自らの判断で活動できる力を育てる」～自己決定力の育成～
- ⑤「職員の心身の安定を図る組織をつくる」  
～個の力が活かされる組織力～
- ⑥「地域連携が図られる環境をつくる」～小中、中中連携の強化～

## 令和4年度 岩内第一中学校 前期学校評価

8割以上を    
7割未満を   で表しています

	教職員自己評価	評価	保護者評価	評価	生徒評価	評価	成果と課題
自分の将来を設計する力の育成	私は、総合的な学習の時間で、生徒が自分の将来や職業について考える場面の設定を意識して取り組んでいる。	83	お子様は、学校生活の中で、自分の将来や職業について考えられるよう成長してきている。	64	総合的な学習の時間で、自分の将来や職業について考える場面がある。	85	・今年度より、各学年系統性をもった教育課程の編成を行った。項目によっては、三者(教職員・保護者・生徒)の評価にばらつきがみられるものがあるため、キャリアパスポートを活用する等しながら、学習内容の定着を図っていく。
	私は、特別活動で、キャリア形成と自己実現を図ることを意識して取り組んでいる。	84	お子様は、学校生活の中で、自分の生活や将来を考えられるよう成長してきている。	78	学級活動や生徒会活動、学校行事で学んでいることが、自分の生活や将来に生きるだろうと思う。	88	
	私は、「資質・能力の三つの柱」「カリキュラム・マネジメント」など、新しい学習指導要領における重要な事項を意識して教育活動に取り組んでいる。	77	お子様は、できるようになったこと、学んだことに自信を持ち、を日常生活に生かそうとしている。	80	何ができるようになるか、何を学ぶか、どのように学ぶかを考えながら授業に臨んでいる。	94	
主体的に発信するための知識・技能の育成	私は、生徒が自ら学習に向かおうとする姿勢作りと、生徒の学習用具持ち帰りの指導に努めた。	100	お子様は、自分から家庭学習に取り組んだり、家庭学習の内容を考えて家庭に持ち帰る学習用具を決めたりしている。	67	自分から学ぼうとして授業に臨んだり、家庭学習の取組を考えながら学校に置いて帰る物を持ち帰る用具を決めたりしている。	76	・家庭学習は現在、「内容」よりも毎日取り組む「習慣化」について重点的に取り組んでいる。家庭学習の取組では、週に1度必ず提出させ、副担任を中心に家庭学習のチェックを行っている。後期も取組を継続し、家庭学習の習慣化を図っていく。  ・T・Tの充実や教室内習熟度別学習を進めていきたい。
	私の校内研修の取組は、自分自身の授業改善に直結している。	100					
	私は、基礎・基本の定着のために、個に応じた指導等を工夫しながら教科経営をしている。	100	お子様は、学校の授業等において、個に応じた指導を受けていると感じる。	54	授業や放課後学習などにおいて、わからないことなどを先生に質問しようとして取り組んでいる。	64	
自信がもてる心の育成	私は、自己評価・他者評価などを通し、自己を振り返る学年・学級経営計画の立案に努めた。	83	学校は、お子様のよさや仲間のよさを認め合う教育活動を位置付けている。	78	学校生活を通して、自分のよさや友だちのよさを認め合う場面があると感じる。	98	・学校での取組の成果を生徒が概ね実感している結果と考えられる。家庭と連携した取組になるよう、学校での取組を家庭に発信していく。
	私は、授業や行事など、日常生活に直結した指導計画の立案に努めた。	92	日常の授業や学校行事を通して、お子様の成長を感じることができた。	93	学校生活を通して、自分やクラスの成長が感じられる。	95	
	私は、内容項目を押さえた道徳の授業や日常の道徳教育を行った。	100	学校生活を通してお子様の道徳性の向上を感じる。	83	道徳の授業や学校生活を通して、自分の心が成長していると感じる。	88	

	私は、生徒の成功体験の機会設定を行うことによる自己理解を深めさせる指導に努めた。	100	お子様は、自分に自信がもてる心が備わってきている。	75	自分には良いところがあると思う。	86	・「自分には良いところがあると思う。」の生徒評価は、昨年度と比較し大きくアップしている。成功体験をさせる場面を設定するなどの取組を継続していく。
達成感を実感できる機会の充実 自らの判断で活動し、	私は、校内外における「一中生挨拶」の指導・強化に努めた。	100	お子様は、校内外で進んで挨拶をしている。	77	校内外で積極的に挨拶をしている。	88	・校内外での積極的な挨拶については、生徒・保護者とも評価が下がった。挨拶の指導に重点的に取り組んでいく。  ・昨年と比較すると、アップした項目が多く、学校での取組の成果を生徒が概ね実感している結果となった。休み時間等の、生徒とともに過ごし小さな変化も見取ろうとする取組の成果と考えられるため、取組を継続していく。
	私は、実践に導く生徒の自己判断・自己決定の機会設定に努めた。	100	お子様は、自分で考え、物事を判断している。	86	物事を決めるときは、自分の考えで判断している。	91	
	私は、いじめを発生させない未然防止の取組に努めた。	100	お子様は、いじめは絶対に許さないという考えで生活している。	92	いじめは絶対に許さないという考えで、思いやりの気持ちを大切にしながら毎日を過ごした。	97	
	私は、相談しやすい環境を作る等、生徒が安心して毎日を過ごせるよう努めた。（不登校への対策も含む）	100	学校は、相談しやすい環境を作る等、生徒が安心して毎日を過ごせるようにしている。	72	悩みがあれば先生方に相談するなどし、学校へ安心感をもつことができている。	93	
	私は、生徒や保護者が登校に不安を感じないよう、感染症対策に努めた。	100	学校の感染症対策は、適切であると感ずる。	83	学校の感染症対策で、不安なく登校することができている。	92	
教職員の心身の充実	私は、組織としての各種業務運営を確立させることによる個人負担の軽減に努めた。	100					・乗り入れや、小中一貫教育サポート事業における各研究部長等は積極的に関わっているが、なかなか全体のものにならないのが実情である。小中一貫教育サポート事業が全体のものとして定着するよう、それぞれが本業務の一端を担えるように推進していく。
	私は、各種業務のPDCAサイクルの徹底に努めた。	100					
	私は、小中、中中の連携による体制強化に努めた。	58					
働き方改革につなげる 地域連携	私は、各教育活動の教育課程への位置付けについてその意義を理解し、指導に努めた。	91	学校の各種取組は、その目的や関連性が理解しやすい。	71	学校の取組は、目的やつながりがわかりやすい。	84	・CSがどういった業務を担っているかは直接関わらなければわかりづらい。PTA活動のように教職員それぞれに分担した担当を設定するなど、それぞれが本業務の一端を担えることを検討しながら推進していく。  ・学校運営協議会の活動の中で、積極的に意見交換等しながら地域とともにある学校を目指す。
	私は、町教委の「部活動指導のガイドライン」に準じた部活指導に努めた。	69					
	私は、学校運営協議会(CS)を活用するなど地域人材の活用に努めた。	85	学校は、学校運営協議会を活用するなど、地域人材の活用に努めている。	57	地域の方をはじめとする外部の方々と接する機会がある。	68	

保護者の皆様からいただいた、学校をよりよくするためのご提案についての学校の見解

- ・携帯電話の持ち込みについてご意見をいただきました。本校においても、SNSの不適切な利用の問題で指導した例があります。また、昨年度は校内の様子をSNSにアップする事例がありました。そういったことから、生徒を不要なトラブルから守るという観点に立ち、持ち込みを不可としています。スマホについては、高校入試でも持ち込みが禁止されています。ご理解いただくとともに、ご家庭での指導をお願いします。
- ・ジャージ登校についてご意見をいただきました。制服等をだらしなくならないよう着用することは、場面に応じたふさわしい服装をすることを子どもたちが考えられるようになる機会としても、大切と考え指導しています。しかし、夏の気温の上昇や熱中症対策についても考慮し、次年度の改善に向けて検討を進めていきます。
- ・学校からの連絡手段としてLINEを利用することについてご意見をいただきました。利用については不安要素も多くあるため、急なお知らせについては安心安全メールの利用を継続していきます。なお、連絡でLINEを利用している部活動もありますが、学校として各部活動顧問に、プライベートで利用している携帯電話を部活動のLINEで使用するよう強制できないことをご理解願います。
- ・配布物等をあんしんメール等、webで配信することについてご意見をいただきました。学校だよりについてはホームページで公開しています。生徒をととして保護者に配付する文書については、「家で保護者に渡す必要のあるもの」として学校で指導しております。ご家庭でもお子様の成長のために、指導をお願いいたします。
- ・教室の扇風機・サーキュレーターを子どもたちの方向に向け使用することについてご意見をいただきました。扇風機・サーキュレーターは、空気を循環させることで教室の温度を下げる（科学的実証に基づく）と換気（感染症対策）を目的に使用しています。扇風機の台数にも限りがあり、首振りにしても風が当たる生徒、当たらない生徒がでできます。また、授業で使用するプリント等が風で飛んでしまうこともあります。そういった理由から、授業中は子どもたちの方向に向けて使用しておりませんのでご理解願います。なお、エアコンの設置については、教育委員会に継続して要望していきます。
- ・教職員の生徒に対する言葉遣いや振る舞いについてご意見をいただきました。生徒の見本となるよう、教職員一同気を引き締めて指導に当たっていきます。
- ・消毒機器の配置についてご意見をいただきました。消毒機器については情勢に合わせ柔軟に対応していきますのでご理解願います。
- ・ホームページをもっと活用して子供たちの普段の生活の様子を見たい、というご意見をいただきました。行事の度に更新していますが、日常的になると、業務的に難しい部分もあるため、現在のペースで継続しますのでご理解ください。